

# 花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年11月18日 NO.67 (267)

モンタ博士「あのさ、<sup>こんちゅう からだ</sup>昆虫の体って、どうなっていたか覚えているかな。」

花ちゃん 「えっと、<sup>あたま むね はら</sup>頭と胸と腹からできています。」

オー君 「そうそう、そのとおりさ。そんなのかんたんだよ。」

モンタ博士「わかったようで、わからないこともあるさ。<sup>あたま むね はら</sup>頭って、胸って、腹って何だ。」

オー君 「ふーむ。そう言われると、わかったような・・・わかんないような・・・。」

モンタ博士「<sup>あたま</sup>頭には目や<sup>め</sup>触覚、<sup>しよっかく</sup>口などのものを<sup>かん</sup>感じる<sup>きかん</sup>器官が<sup>あつ</sup>集まっているのさ。」

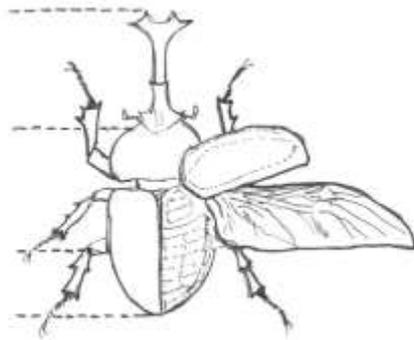
オー君 「それじゃ、<sup>むね</sup>胸は？」

モンタ博士「<sup>むね</sup>胸からは足や<sup>あし</sup>羽などが<sup>はね</sup>出ていて、<sup>うんどう</sup>運動する<sup>きかん</sup>器官がいろいろあるのさ。」

花ちゃん 「それじゃ、<sup>はら</sup>腹は？」

モンタ博士「<sup>た</sup>食べたものを<sup>しようか</sup>消化する<sup>きかん</sup>器官がたくさんあるんだ。メスにはたまごをうむための<sup>きかん</sup>器官もあるんだよ。」

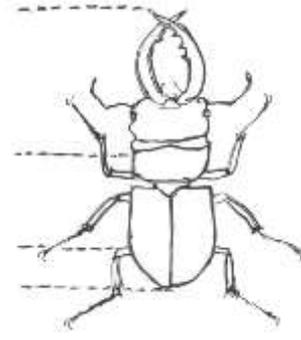
頭



胸

腹

頭



胸

腹

花ちゃん 「へえー。<sup>あたま むね はら</sup>頭と胸と腹は、それぞれ別の役目があるということですね。」

オー君 「カブトムシなど、<sup>むし</sup>虫は、みんなむだなくできるいるということなんだ。」

花ちゃん 「虫は<sup>むし</sup>頭・<sup>あたま むね はら</sup>胸・腹でできるいるけど、<sup>ふか い み</sup>深い意味があるんですね。」

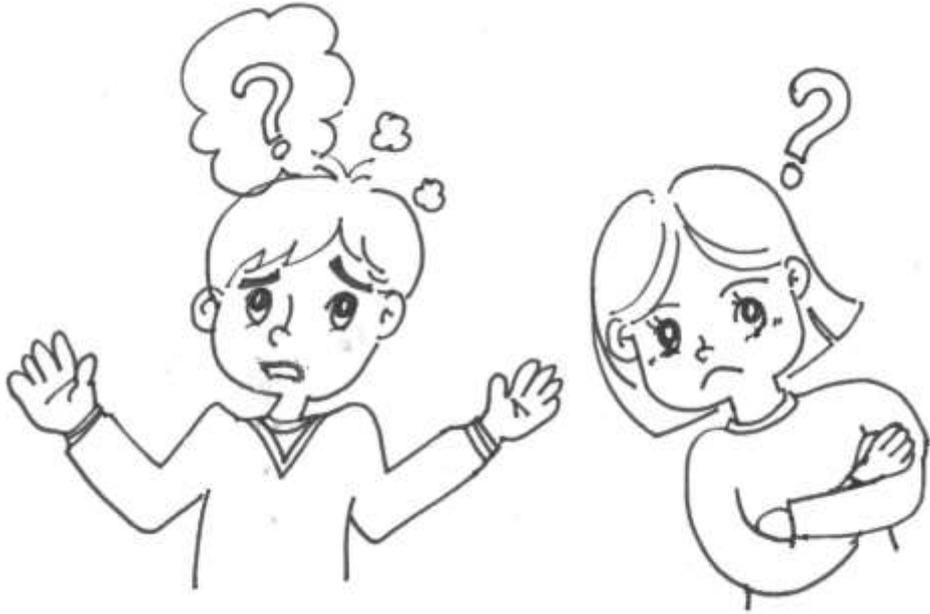
モンタ博士「そのとおりさ。わかったつもりでいるのが一番いけないね。あれはカブトムシ、これはクワガタムシと<sup>なまえ</sup>名前だけ知っていてもしょうがないのさ。」

よく<sup>み</sup>見たり、よく<sup>かんが</sup>考えることが<sup>たいせつ</sup>大切なんだよ。」

花ちゃん 「はい。わかりました。」

オー君 「ほんとうにそのとおりでですね。」

モンタ博士「それでは、ここで問題を出すことにしよう。よく考えてね。問題は、  
どうしてカブトムシはふとっちょで、クワガタムシは平っぺたいのかな。」  
花ちゃん「そうですね。そう言われるとそのとおりですね。どうしてだろう。」



モンタ博士「それを考えてほしいのさ。たとえまちがってでもいいんだ。自分の経験とかで  
知っていることとかを全部集めて、じっくりと考えてごらん。」

オー君「あ！そうか。思い出した。昆虫の足(国立てくく3のNO.50)・昆虫の羽(NO.58)につ  
いてお話ししてくれたんだ。その時、昆虫の形にはわけがあるということ、  
住む場所や生活の様子と関係しているってことを教えてくれたんだ。」

モンタ博士「そのとおり！よく思い出してくれたね。もう少しだ。」

オー君「つまり、カブトムシやクワガタムシの体の形はの生活に関係するんだ。」

花ちゃん「だから、オー君！その続きを教えて！」

オー君「つまり、カブトムシとクワガタムシでは屋間のすみかがちがうためなんだ。  
カブトムシは、腐葉土や土の中などにもぐりこんでいるので、太っていても  
いいし、クワガタムシは、木のすきまなどにもぐりこむために平っぺたい形  
をしているんだ。まちがいない！」

モンタ博士「ピンポン。そのとおりさ。200点満点・花まるだね。オー君！よく考  
えたね。感心だね。では次の問題は・・・」

次号につづく・・・